

ありふれた恐怖



ぢゅり

都合の良いことかな

血の繋がっていない家族と20年以上、共に過ごしたことってありますか？

意外と、なかなか無いものですか？

自分の人生の半分以上を一緒に過ごすのですから。

生き続ける、というのも大変で大事なことです。

自分の命の全てはあげられないけれど、1、2年なら・・・

そう思ったことってありますか？

意外と私は両方ありますね。

愛猫、ぢゅりあ〜の。

オレが帰ってきたら、ぢゅりは、広い場所へトトトツと走って行って。

お腹を見せてゴロンって転がる。

オレはお腹にハフハフする。オレはオマエの子供かっ！？ていう状態。。

20年、21年かな22年かな一緒に過ごしました。長生きしてくれました。

それでも2回かな、病院へ行っても原因不明と言われ苦しんだこともあります。

家族で2回安楽死を考えて、その度に、もう1日待ってみよう。。。と思った。

そして神棚や仏様に、1、2年くらいならオレの命を。と祈ったものです。

そんな愛していた猫も、家を離れていた為に最後を看取ることはできず。

夏休みや正月に帰ってきたら、もうおばあちゃん。

ぢゅりあ〜の。と呼んでみても首をかしげるばかり。。

耳が聞こえなくなってしまういたり。

あんなに尻癖の良かったネコが、トイレ以外でオシッコしたり。。

何を訴えているのか分からないけれど泣き続けたり。。

その姿を見て。ぢゅりを撫で撫でしながら。。

少し長生きし過ぎちゃったのかなあ。。。と呟いたこともあります。

長生きして欲しいと願ながらも。。。です。。。

結局は、都合の良いことかな。

都合の良い時に、都合の良い時間だけ、都合の良い愛、
ただ、それだけしか求めているのかな。

でも愛しているのです。

まだあった、モスラのその後。。。。

支配者とは、恐ろしいモノである。

神のような気分になると悪魔になる、その必然さ。。。。

その見本だ。

恐ろしいこと指示する。恐ろしい結果を期待してだ。

だが、そのプロセスも結果も実際に見ることは無いだろう。

その後始末なんて絶対に見ることは無い。。。。

でもプロセスや結果を見て、悪魔のように笑ったり、冷たい目で見て、冷笑する。

その方が、まだ人間らしい。生き物らしい。

悪魔のような生き物であり人間らしいと言えるのではないだろうか。

だが、指示して期待通りの結果を聞くだけということのほうが大半であろう。

支配する側とは、そんなものだ。

だが、もはや、それは生き物とは言えまい。。。。

機械、マシンに近いかもしれない。

邪魔だから。ただ、ただ、それだけで何でも出来てしまう。

否、そんなことができるからこそ人間。なのかもしれない。。。。

モスラ、4リットルペットボトル2つの大五郎に入れられたモスラ達。。。。

どうやら、このままでは廃棄するのに困る。そう判断されたらしい。。。。

そこで出てきたのがレジ袋。。。。

北海道にのみ存在するというコンビニエンスストア、セイコーマートのレジ袋。

最近では、エコバックがあるからレジ袋も珍しいかもね。

でもコンビニのレジ袋は健在かなっ。

何だって気軽に入れることができるレジ袋。

そんなレジ袋2つがパンパンになってました。

若干、透けるレジ袋。

薄っすらと黄色になったレジ袋。

どうやって、大五郎からレジ袋へ移したのだろうか！？

大五郎に入れるのも大変だったと思うのに。。。。

恐ろしい。。。後始末。。。人間がもたらすであろう、この世の終わりを見ました。。。

。。。ワシは何を書いているのだっ。。。

まあ、いい、次回は、愛について書く。泣かせてやるぜいっ。

モスラ、その後・・・

粛清されていた・・・増えて危険視された存在とは、そうなる運命なのだろう。
君臨している存在にとって邪魔なモノとは、そうなる運命なのだろう。
勝てない限りは。。。そうなる運命なのだろう。。。

たくさんの歴史が証明している。

それは神と言われた人間すらも例外ではない。

粛清。。。。

その粛清された姿は、写真にはしないでおこう。
文章にして残しておくことにする。
余りにも残酷すぎるのだった！！

外に残されていた、その残酷な姿。。。

「火はさみ」。。。

よくバーベキュー大会とかでは炭を取るのに使います。
ここでは、モスラを摘む為に利用したと思われるのだった。
あのモスラを摘むことができる能力、破壊力は流石である。

だいごろう。。。大五郎。。。焼酎の。。。4リットルサイズと思われる。

「大五郎」が2つ。。。

決して入口が広い訳では無いのだが。。。
どうやってもモスラの方が大きいのだが。。。

どうやって詰め込んだのか???

分らない。。。

だが、しかし、現実に。。。

この「2つの大五郎」の中にギッシリと。。。

モスラが詰まっていました。。。

恐ろしい・・・悪魔の所業、なせる業と言えよう。。。

それもその筈、そんなことをしたのは人間だもの。。。

だって。。。人間なんだもの。。。。

モスラの恐怖

ある田舎の夏から秋に、よくある風景。トンボが飛び車にはねられて死ぬ。そんな車道に転がるトンボ達を食べようと車道に群がるカラス。。。ドンくさく、というよりはナメキっているカラスは、トラックにはねられて死んでいたりする。その時点で、そこにカラスが集まってくることはない。仲間の死骸がある場所には近づかない。そんな田舎によくある恐怖の風景はまだまだある。



それがモスラの出現だっ！！！！

モスラが大量発生している。かの有名な古い映画、ゴジラが出演する映画では、せいぜい1匹であろう。。。そのモスラが大量発生中であるっ。こんな怪獣が、花壇の中、街灯、ビルの壁、入口のドア、いたるところにくっついているのだっ！！！！

恐ろしいっ。

ちいっ、としているだけなら良いのだが突然パタパタッ！！！！

死んでいるのかと思ったらパタパタっ！！！！

その姿はまさにモスラ。。。。

ビルに入れません・・・怖くて・・・だって人間なんだもの。。。。

だってが、上手に繋がりません。これから上達していくと思います。

そんな今日この頃でいす。。。。

ありふれた恐怖

<http://p.booklog.jp/book/33712>

著者：ちゅり

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/julijuli67/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/33712>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/33712>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.